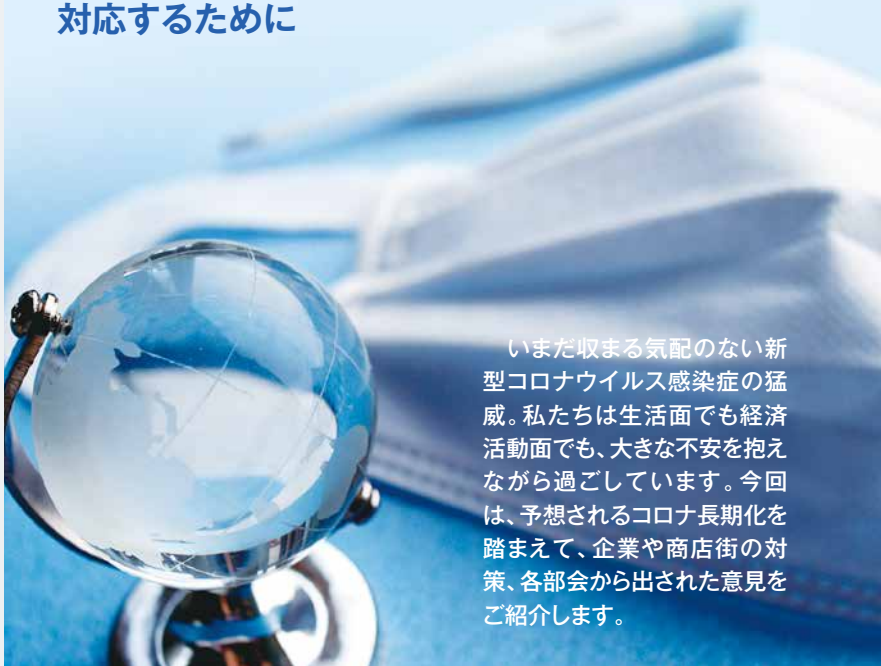


新型コロナウイルス感染症 第2波に備える

新型コロナウイルス感染症に
対応するために



いまだ収まる気配のない新型コロナウイルス感染症の猛威。私たちは生活面でも経済活動面でも、大きな不安を抱えながら過ごしています。今回は、予想されるコロナ長期化を踏まえて、企業や商店街の対策、各部会から出された意見をご紹介します。



感染症対策と新しい生活様式

新型コロナウイルス感染症の勢いが、再び強くなって来ています。

厚生労働省発表のPCR検査陽性者数のデータを見ると、4月10日の701人をピークに国内感染者数は一時下がってきていましたが、6月後半から再び増加傾向となり、7月中旬には前のピーク時に近い数となっています。これをもつて、いわゆる「第2波」と即断することはできませんが、油

断できる状況ではありません。

栃木県内でも、7月に入ってから感染者が再び毎日のように報告されるようになりました。7月21日現在で宇都宮市は46人（宇都宮市発表）、栃木県は139人（栃木県発表）となっており、さらに国内での死者数1000人を超えるなど増加傾向にあります。本誌が発行になる8月10日までに、歯止めがかかったとしても、私たち

全員が感染に対して十分な注意を払いつつ行動することが不可欠です。

そこで今回の特集では、企業活動における対策や事例をご紹介します。

「新しい生活様式」について

国の専門家会議から「新しい生活様式」が提唱されていることは、皆さまもご存じでしょう。5月1日に発表された提言では、「新しい生活様式」について、次の方法などが提言されました。

- ・「3つの密」を徹底的に避ける
- ・手洗いや人と人との距離の確保など基本的な感染対策を続ける
- ・テレワーク、時差出勤、テレビ会議などにより接触機会を削減する

5月3日には実践例が発表され、その内容は宇都宮市のホームページで見ることができます。すでにマスコミでも報道されていますが、その一部を転載しますので、これを参考に日頃の行動をチェックしてみてください。

また、店舗やオフィスなどでの対策も、基本はこの「新しい生活様式」ですので、参考にして実践してください。



宇都宮市ホームページ
新しい生活様式の実践例（全文）

「新しい生活様式」の実践例 （国の専門家会議の提言）

1 一人ひとりの基本的感染対策

- ◎ 感染防止の3つの基本（抜粋）
- ① 身体的距離の確保
- ② マスクの着用
- ③ 手洗い
- ・ 人との間隔はできるだけ2m（最低1m）空ける
- ・ 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける
- ・ 外出時、屋内にいるときや会話をするとき、人との間隔が十分とれない場合は、症状がなくてもマスクを着用
- ・ 家に帰ったらまず手や顔を洗う
- ・ 人混みの多い場所に行った後はできるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる
- ・ 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う（手指消毒薬の使用も可）

◎ 移動に関する感染対策

- ・ 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える
- ・ 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモ（接触確認アプリの活用）
- ・ 地域の感染状況に注意する

2 日常生活を営む上での基本的生活様式（抜粋）

- ・ こまめに手洗い、手指消毒
- ・ 咳エチケットの徹底
- ・ こまめに換気
- ・ 身体的距離の確保

「3密」の回避（密集 密接 密閉）

- ・ 毎朝の体温測定、健康チェック

3 日常生活の各場面別の生活様式（食事の場合）

- ・ 持ち帰りや出勤、デリバリーも大皿は避けて、料理は個々に
- ・ 対面ではなく、横並びで座ろう
- ・ 料理に集中、おしゃべりは控えるに

など

4 働き方の新しいスタイル

- ・ テレワークやローテーション勤務
- ・ 時差通勤でゆとりと
- ・ オフィスは広々と
- ・ 会議はオンライン
- ・ 対面での打ち合わせは換気とマスク

企業活動での注意点は？

企業活動における新型コロナウイルス感染症対策も、基本的には「新しい生活様式」の延長にあります。その上に、各業種業態ごとの特色を踏まえた必要性を加えて対策を立てることになります。

ただ、それぞれの企業が1から対策を考えるのは難しいと思います。医学情報も専門家によって違う意見がでいたり、医学用語に詳しくなければ理解できない情報があるなど、個人の努力だけでは対応しきれ

ないのが実情ではないでしょうか。

そうした現状を踏まえて、各業界団体などではそれぞれガイドラインを発表しています。栃木県ホームページ内の「経営者の皆さまへ（業種別ガイドライン）」ページではリンク集を作成しています。7月に発表されているものを網羅しており、ほぼすべての業界における対策指針がわかりますので、ぜひご覧ください。



業種別ガイドライン

また、「施設の種別に応じた感染防止対策の例」として、施設別対応を掲載しています。こちらも、対策のスタートラインとして大変に有益ですので、参考にしてください。



施設の種別に応じた
感染防止対策の例

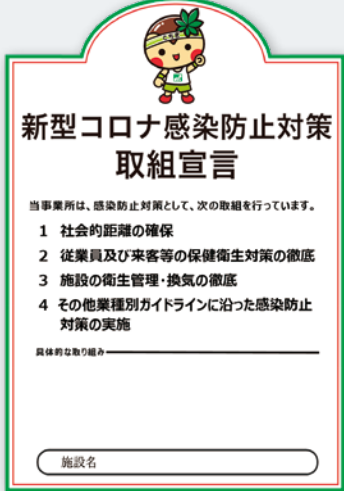


図1
「新型コロナ感染
防止対策取組宣言」と、店頭
に貼るステッカー



図2

東京都新型コロナ
ウイルス感染症の拡大防止チ
ェックシート「全業
種共通編」



東京都感染症拡大防止
チェックシート

さらに、県では「新型コロナ感染防止対策取組宣言」運動を展開しています。栃木県が作成した「感染防止対策取組宣言書」（図1）の内容に、各業界団体が策定しているガイドラインの内容に沿った独自の取り組みを書き加えて、事業所に掲示するものです。その際、店頭にはステッカーもを貼り、お客さまなどが一目で分かるようにします。県ホームページには具体的な業界別の例もありますので、参考にしてください。

詳しくは左記のQRコードからご覧ください。



新型コロナ感染防止
対策取組宣言

東京都では、事業者向けに独自の感染防止対策チェックシートを作成しています。このチェックリストは全業種共通のもの、各事業別のものがあります。宇都宮市の事業者の皆さんにも役立つものですので、目を通していかげでしょうか。「新型コロナウイルス感染症の拡大防止チェックシート 全業種共通編」の内容を掲載します（図2）。

全てのチェックリストは、左記のQRコードを参照してください。



新型コロナウイルス感染症対策への取り組み

(株)丸治

軽症者を受け入れた ホテル丸治の決意と対策

(株)丸治 福田治久専務取締役 聞く

報道などでご存じの方も多いと思いますが、私どもホテル丸治は栃木県からの要請を受けて、5月5日から新型コロナウイルス感染症軽症者・無症状者を受け入れる

宿泊療養施設となっています。

ホテル丸治では現在、宿泊を承っておりますが、ホテル・ザ・セントレ宇都宮は通常営業しておりますので、宿泊をご希望の方にはそちらをご紹介するようにしています。

宿泊療養施設として手を挙げるまでには、大きな葛藤がありました。ホテルにはイメージが重要ですので、決して好意的に見てくださる方ばかりではありませんし、新型コロナウイルス感染症の終息後にも風評的な部分で影響が残るのではないかと懸念と不安がありました。当ホテルが受け入れ施設になることは、今まで経験したことのない取り組みですので、受ける影響の想像が付きません。

その上でも、受け入れる覚悟を決め、宿泊療養施設として手を挙げたのは、何よりも「地域の皆さまにご恩返しがしたい」という気持ちです。

療養施設に必要な安全なエリア、危険な

エリアをゾーニングするにあたり、当ホテルは入口が2つ以上ある点や客室までエレベーターも複数あること、医療施設が整った都市部に所在することなどのさまざまな条件が整っていました。

私どもはこの地で、約300年にわたってホテル旅館業を営んでこれたのは、宇都宮市や栃木県という地域の皆さまからの応援があつてこそだと考えています。未曾有の危機だからこそ地域にご恩返しをしたい、私たちががやらないければ誰がやるという思いで手を挙げることを決めました。

受け入れ前のゾーニングを含め、準備についても県職員や専門家、自衛隊が行いました。また、受け入れに当たつてのさまざまなご指導もいただきました。受け入れフロアはしっかりとゾーニングし、従業員等が間違つて入ることがないようにテープングや張り紙で注意喚起を行っています。

療養している方々への対応は、自衛隊の指導のもと、県職員や医療従事者が行っていますので、私どもスタッフが療養されている方々と直接接することはありません。

ただし、療養されている方々へのお食事は私どもが提供させていただいています。療養者にとつて当ホテルで過ごされた時間は、決して良い思い出ではないと思います。それでも、ホテル丸治の食事は美味しかったなど、少しでも明るい気持ちや思い出になるように、心をこめて地域の皆さまからの差し入れなどとともに提供させていただいております。

食事に関しては、ホテル丸治は宿泊営業だけでなくレストラン「和堂あさひ坂」



新型コロナウイルス感染症対策への取り組み

(株)井上総合印刷

早期の対策策定と周知、 新商品の開発などに取り組む

(株)井上総合印刷 井上加容子代表取締役社長に聞く

私どもでは4月初めに新型コロナウイルス感染症対策要項を策定し、4日付けで文書にしてお客さまにお知らせしました。現在はホームページでも公開しています。

対策の明文化のきっかけは、3月に東京のお客さまから「井上さんではどのような対策を行っているのですか」という問い合わせでした。流行の状況を見るかぎり、対策をしっかりと立てることが顧客の信頼確保にも直結すると考えて、大至急作成したのが、この要項でした。

私ども印刷業では、同業者との接触する機会も多く、感染者が発生した場合、地域の方々やお客さまだけでなく、同業者にも影響を及ぼす危険性がありました。このような危機感もあり、しっかりと対策を打ち出す必要性を痛感しました。

対策の一つに「検温結果管理」があります。これはチェック表を作つて書き込んでもらっています。これは従業員の健康管理だけでなく医療機関に訪問する際に提出するなど営業活動にも役立っています。

来客の方には、アルコール消毒をさせていただいています。その上で来客受付票とし



(株)丸治
福田治久 専務取締役

も営業を停止していることもあり、お弁当のテイクアウトを始めました。これは、売上を上げることも理由の一つではありますが、何よりも調理スタッフの腕を鈍らせないこと、仕事をすることで精神的に安定してもらおうという考えのもと行っております。営業を休止することによる従業員への影響も決してゼロではありませんが、可能な限りその不安を軽減したいと考えています。一方、宴会および駐車場は稼働できていないため、スタッフを休ませています。彼らの不安は大きいと思いますが、経営的にも厳しい状態が続いていますので、公的な支援策をお願いしたいのが本音です。

このような形で可能な限り不安を軽減できるような取り組みを行っています。新型コロナウイルス感染症が終息し、通常営業ができるようになった時にはすぐに業務再開できるように準備を整えて参りたいと考えています。

一方、不安な点もあります。私どものホテルは新しい建物ではありませんが、常日頃から設備のメンテナンスをきちんと行つてこのホテルを維持してきました。しかし、それは宿泊者の方に客室を使つていただいているからこそ、維持できていたと思います。現在、ホテル丸治は宿泊を承っております。

現在の体調などのチェックシートに記入していただいています。煩雑ですが、感染予防の取り組みとしてご理解をいただいています。

その他、月1回の全体朝礼を中止し、少人数の朝礼に切り替えました。私が1日で回らなくてはならないので大変ですが、クラスター対策としても必要なことだと思つています。

コロナ禍は採用活動にも影響を及ぼしています。通常であれば7月には会社説明会を開催しているところですが、大人数を集めて開催することができませんので、5



徹底したゾーニングを施した療養者受け入れフロア



ロビーに飾られた黄がな



(株)井上総合印刷
井上加容子 代表取締役社長



対策要項



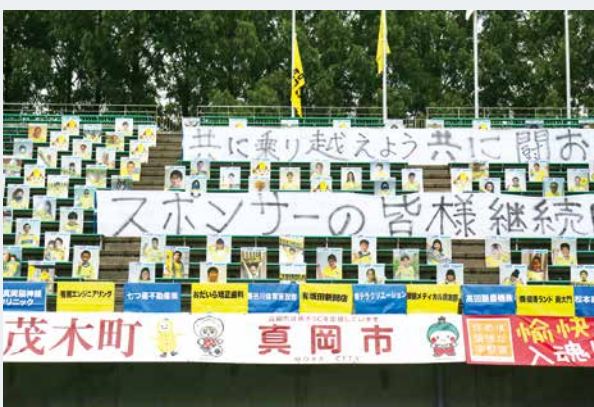
工場内でも3密を避け、マスク着用

人くらのチームに分けた説明会や会社見学を行っています。今後も、採用活動による感染などが起こらないよう万全を期したいと思います。

しかし、会社でいくら対策を立てても、最終的には社員一人ひとりの自己管理がしつかりしていることが重要です。幸い、当社の工場は、ソーシャルディスタンスを充分にとれる広さなので3密の恐れは低いと言えます。むしろデザイン室や事務所の方が人数が多いため、職場それぞれの特性に合わせて対策を行っています。それをきちんと守るのは社員にかかっていますから、朝礼等での意識づけもしつかり行っています。

印刷業も、他業種同様に大きな打撃を受けていますが、特にイベントなどが軒並み中止となり、それらに関連するチラシやパンフレットなどの印刷物の受注が激減しています。これをどう乗り切るかは、大きな経営課題の一つです。

一方、スポーツの試合は無観客や入場制



サポーターの写真をプリントした応援ボード

限下で開催しています。そのためスタジアムがとても寂しく、選手のパフォーマンスやモチベーション低下につながるのではと考えました。そこで私どもから、栃木SCさまに観客席に設置するボードをご提案させていただきました。

B2判のボードにサポーターの写真などをプリントして、スタンドに設置。応援する気持ちを選手に伝えるとともに、スタジアムの風景を明るく活気あるものにする商品です。実際に7月5日の試合で使ったところ、大変好評でした。

この新商品はスタジアムや体育館など、観客席があればどこでも対応が可能ですから、他のプロスポーツチームでも使っているだけならと思います。

この他にも、新しい生活様式に対応した新商品の開発を心がけています。そして、コロナ禍が開けたら、しっかりと地域に貢献する企業活動を行っていきたいと考えています。

イベント開催の方法を模索 「オリオンわくわくマーケット」

「オリオンわくわくマーケット」は、オリオン通り曲師町商業協同組合が開催している、ハンドメイド商品のフリーマーケットです。例年、冬季を除いて隔月1回、土日の2日間にわたり、オリオン通りで開催してきました。

「今年は、3月以降中止にせざるを得ませんでした」と話すのは、同組合の長谷川正理事長です。

「まだ感染者の発生は続いていますですが、待っているだけではダメだということで、7月25日（土）に、試験的に開催しました」従来のわくわくマーケットは宇都宮市外からも出店者を募ります。また、商店街内で音楽のライブ演奏も行われる2日間のイベントです。

しかし今回は、日数を1日と短くし、



半年ぶりに開催された「オリオンわくわくマーケット」

通常は20以上ある出店者を15程度に縮小しました。出店者も宇都宮市内の人に限定、ライブ演奏も中止としました。

「コロナ禍は当分終息しないと思います。その中でどのようにしていけば、イベント開催が可能なかを調べたいということも、今回の目的のひとつでした」

開催を決定して出店者を募集したところ、いつもよりも良い反応だったそうです。出店者側も、イベントがほとんど中止されているため、今回の開催を歓迎したのではないかと思います。

「商店街のお店からも、イベント開催を希望する声が出ていました。今回の経験を次に生かして、わくわくマーケットだけではなく、さまざまなイベントの開催の可能性を探っていきたいと思っています」

当日はさまざまなブースがオリオン通りにならび、街を訪れた人を楽しませました。商店街でも、次回につなげる意欲がわいたようでした。

感染対策を万全にしつつ、新しい生活様式にしたがった商店街イベントのあり方の模索が続いています。



オリオン通り曲師町商業協同組合
長谷川正理事長
(前長谷川時計店代表取締役)



新型コロナ感染症対策への取り組み

商店街

コロナ禍でもできることを… 「オリオン七夕まつり」

毎年8月初めの1週間、オリオン通りは華やかな七夕飾りで埋め尽くされます。長い歴史のある「オリオン七夕まつり」です。オリオン通りの2商店街が中心となつて組織する「オリオン七夕まつり実行委員会」が主催しています。オリオン通りの商店や保育園、幼稚園、各学校などが独自に工夫した七夕飾りを持ち寄ってオリオン通りに掲示し、街ゆく人の目を楽しませる行事でした。

「残念ながら、今年は安全を考慮し、中止にせざるを得ませんでした」と言葉に悔しさをにじませるのは、同実行委員会の館野昌弘委員長です。

「ただ嘆いているより、何か代わりに、多くの方に喜んでいただける事業はできな



各店舗でも思い思いのミニ七夕飾りを

各部会からの意見

実情に即した会員企業の〈声〉

各業界における新型コロナウイルス感染症の影響等について、事業者の意見収集を行うため、業種ごとに構成される部会を開催しました。本誌では7月21日までに開催した部会の中で、出席者からいただいた代表的なご意見を紹介します。

商業卸部会

コロナ禍によるオリンピックの延期等により、ホテル業の客室稼働率が非常に悪い。宿泊施設を対象とした寝具販売が激減している。（寝具製造卸業）

交通運輸部会

団体・個人旅行の需要が激減し、8月以降も需要がない状態が続くと予想される。企業でもWEB会議が中心となつてきているため、会議や視察、学会等も減るのではないかと懸念している。（旅行業）

情報・サービス部会

出社率を25%に抑える目標を課し、コロナ禍を機に、DX（デジタルトランスフォーメーション）を進めている。当社では『ライフワークシフト』という新しいコンセプトを生み出し、自宅やサテライトオフィスで

いかと皆で知恵を絞り、オリオン通りに来た方に短冊を書いていただき、掲示することにしました」

さっそく短冊を準備し、通行する人たちに願いを書いてもらったところ、約800枚が集まりました。オリオン通りの4カ所に竹で作ったポールを設置し、そこに一人ひとりの思いがこもった短冊を飾り付けました。また各店舗には黄ぶな折り紙と短冊、笹のミニ七夕飾りセットを配布する新しい取り組みを実施。各店舗が思い思いの飾りを作り、それを店舗に掲げました。

館野委員長は「多くの店舗は売り上げが昨年度の半分以下に落ちています。暗くなりがちな街やお店の雰囲気、このきれいな七夕飾りを見て、少しでも明るくなければと思っています」と話してくれました。

七夕飾りは7月1日から8月7日まで実施されました。その間、短冊を書いた人も含めて、多くの人の目を楽しませてくれました。



オリオン七夕まつり実行委員会
館野昌弘委員長
(タテノ本店社長)

仕事を行い、場所や時間に捉われない仕組みを作った。これにより、フレックス勤務の導入を進め、単身赴任や通勤手当等の制度を廃止した。（ITサービス業）

※ITによって働き方の変革や高い生産性をもたらし、インベーションを目指す取り組みのこと。

環境衛生部会

宿泊業では宴会等のキャンセルが相次ぎ、売上が減少しており、4月、5月は臨時休業を行ったホテルもある。のこのキヤンペーンで旅行客が増える見込みであったが、感染者が増加している現状を考えると今後厳しい状況が続くと考えられる。（ホテル旅館業）

* * *

当所では、これら部会の意見を踏まえ、9月以降に緊急対策事業の実施を予定しています。詳細が確定次第、改めて本誌でご紹介します。